

第2回

学校施設整備に関する調査特別委員会

資料

嘉麻市教育委員会

令和元年12月10日

目次

1. 小中一体型校施設整備の経緯について
2. 嘉麻市教育基本方針（案）について
3. 事業スケジュールについて

1. 小中一体型校施設整備の 経緯について

施設整備見直し経緯

平成20年3月

嘉麻市学校施設整備基本構想 策定

【目的】学校施設の現況把握を行い安心安全な学校施設整備に関する基本方針の作成と、嘉穂地区小学校統合に関する意向調査や各種整理及び教育行政の効果的・効率的運営を図るための中長期的な整備指針として策定。

平成21年9月

嘉麻市学校施設整備基本計画 策定

【目的】学校施設整備基本計画及び嘉穂地区小学校統合対象校の統合に関する統合校施設整備基本計画を策定。

平成26年4月

嘉麻市立嘉穂小学校開校

平成26年度～

既存校舎の大規模改修工事（牛隈小・山田中）

平成27年度～

第2次施設整備基本計画検討会議（教育委員会）

【設置目的】安心安全な学校生活の確保と、学力向上に資する教育環境を構築するための調査及び検討を行う。

【検討内容】改修計画や小中一貫教育について

施設整備見直し経緯

平成30年1月
ホームページ掲載済

学校施設整備審議会

【諮問内容】①施設整備の方法 ②施設整備の優先度

審議内容（要約）

(1) 施設整備の方法について	(2) 施設整備の優先度について
<ul style="list-style-type: none">①施設整備方法の比較検討②計画的かつ効率的な施設整備③地域における学校の存在意義④教育的視点からの施設整備⑤地域の特性や児童生徒の多様性に配慮した施設整備⑥施設整備の候補地	<ul style="list-style-type: none">①児童生徒の安全・安心②地域の特性に配慮すること③有利な財源の活用

答申内容（要約）

現中学校区を基本校区とし、
校区内の小学校と中学校を一体型校舎により整備する。

1.碓井中学校区 ➡ 2.稲築中学校区 ➡ 3.稲築東中学校区
➡ 4.山田中学校区 ➡ 5.嘉穂中学校区

平成30年6月
ホームページ掲載済

嘉麻市学校施設整備基本計画（改訂版）策定

施設整備見直し経緯

平成30年7月
ホームページ掲載済

学校施設整備審議会

【諮問内容】 学校施設整備基本方針（案）

審議内容（要約）

小中一体型校施設整備の実施にあたり、5中学校区の施設整備を公平・円滑に推進するための指針となる、基本コンセプト及び基本コンセプト実現に向けた施設整備の考え方について

学校施設整備基本方針（案）は全校区に共通する基本方針となり、各校区の詳細な計画については、校区別に整備計画を策定します。

小中連携校を予定しているが、将来的には義務教育学校等への移行も見据えた施設整備とします。

地域に開かれた学校であり、子どもの安全が確保される施設及びルール作りを期待します。

など

平成30年10月
ホームページ掲載済

嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針 策定

施設整備見直し経緯

平成30年10月
ホームページ掲載済

碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

【諮問内容】

①計画候補地について	②配置計画について
③空間計画、平面計画について	④その他基本計画作成に必要な事項について

答申（要約）	計画候補地	配置計画	その他
碓井 中学校区	碓井小学校 敷地	運動場側に 新校舎建設	歩車動線の分離等の安全 対策など
稲築 中学校区	両敷地を 一体的に	西小学校運動場 に新校舎建設	学校ゾーンと地域活動 ゾーンの区分けなど

令和元年8月
ホームページ掲載済

碓井中学校区小中一体型校施設整備基本計画 策定
稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画 策定

令和元年10月

稲築東中学校区小中一体型校施設整備協議会

【諮問内容】

①計画候補地について	②配置計画について
③空間計画、平面計画について	④その他基本計画作成に必要な事項について

○財政状況

施設数の減少に伴って建築及び維持管理費用の減少が見込まれ、将来に渡って効率的な学校運営が可能となります。

また、有利な財源を活用することで、嘉麻市の市費負担も抑制できます。

○教育内容

30人以下学級の導入や特別支援補助教員の採用などの施策を実施し、学力向上や不登校児童生徒数の減少など着実に成果を上げてきています。

さらに教育内容の充実を図るには、小中学校が教育課題を共有し、日常的に教職員の連携・交流を図っていくことが求められています。

○地域コミュニティ

地域コミュニティの活性化には、地域と学校の新たな関係性の創造が重要であり、現中学校区を基本に、地域コミュニティの拠点となる学校が必要であると考えています。

●基本的な考え方（要約）

現中学校区を基本校区として小中学校が日常的に連携した学校運営が可能となる『**小中施設一体型校舎**』を整備し、小中連携教育を更に推進することとします。なお、施設整備にあたっては、小中学校で**共有できる施設についてはできる限り共有し、経済的かつ効率的な施設**として整備します。

施設整備の候補地については、財政負担の軽減及び地域コミュニティへの影響を考慮し、**既存学校用地の活用を最優先**で検討します。

また、地域コミュニティの拠点施設として、社会教育及び社会体育施設を併設した複合型の施設整備についても、検討することとします。

1.碓井中学校区 ➡ 2.稲築中学校区 ➡ 3.稲築東中学校区

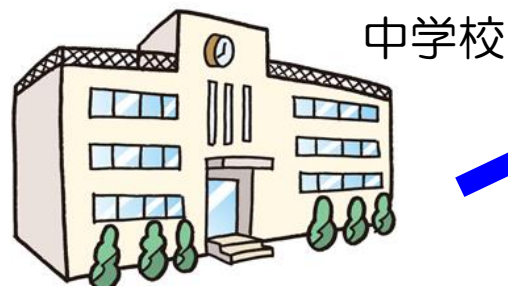
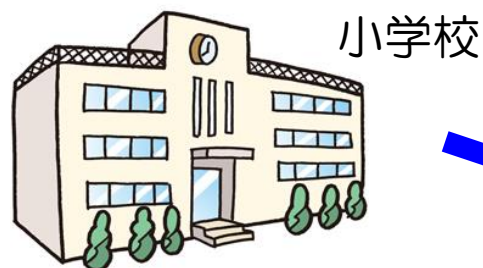
➡ 4.山田中学校区 ➡ 5.嘉穂中学校区

嘉麻市が目指す施設一体型校舎とは

既存の小学校又は中学校の敷地を活用し、**小学校と中学校の全部を一体校舎として整備**します。

(小学校棟や中学校棟など別々に整備するものではありません。)

校舎内部を、小学校部分・中学校部分・共有部分 (職員室や特別教室など) にゾーン分けをし、校舎全体を構成します。



(イメージ図)



小中一体型校施設整備基本方針 (平成30年10月)

5中学校区の施設整備を、公平・円滑に推進していくための指針

(基本方針：P1)

小学校と中学校の繋がり、学校と地域の繋がり、地域同士の繋がりをつくり、地域に一体感を創造する。

つなぐ学び舎 ~ つながるなかま

I 質の高い教育を実現する学校

II 地域創造の核となる学校

(1)
4つの課題等に対応する施設

「学力向上」
「不登校解消」
「規範意識の醸成」
「郷土を愛する人材育成」
に加え、「体力の向上」を図る、嘉麻市らしい教育活動を展開していきます。

(2)
新たな教育課題に対応する施設

ICT教育の推進、外国語教育の充実等、今後も変わり続ける教育内容に柔軟に対応しながら教育活動を展開していきます。

(3)
ふるさと嘉麻を心に育む施設

ふるさと嘉麻を胸に社会にはばたく子どもたちを育成するとともに、大人と子どもが関わり合いながら共に成長できる教育活動を展開していきます。

(4)
地域の資源として機能する施設

地域コミュニティの核となり、住民が集い、活動し、地域文化の継承や発展、生涯スポーツの振興に寄与する場としていきます。

(5)
安全・安心を守る施設

防災の拠点として機能し、児童生徒・地域住民の安全・安心を守る場としていきます。

《小中一体型校施設整備基本方針》

(概要)

(基本方針：P2～P5)

基本コンセプト実現に向けた施設整備

(1) 4つの課題等に対応する施設

- ①小中連携を推進する施設
- ②明るく清潔な施設
- ③個々の教育的ニーズに応えられる施設
- ④コンパクトで機能的な施設

- ・職員室の共有化
- ・日常的な打ち合わせスペースの設置
- ・特別教室の共有化、異学年交流スペースの配置

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの採用
- ・相談室、多目的トイレ、更衣室等の設置

- ・特別教室、管理諸室の共有化
- ・小中相互に刺激し合える教室配置

(2) 新たな教育課題に対応する施設

- ①時代の変化に柔軟に対応できる施設
- ②国際化社会・高度情報化社会に対応できる施設
- ③主体的に学べる施設

- ・少人数（習熟度別）授業に対応した教室の配置
- ・多様な用途に対応した多目的室の設置

- ・外国語等を身近に学べる教室の配置
- ・施設内で自由に情報機器を使用できる環境整備
- ・インターネット環境と図書室を関連させた施設

- ・利便性の高い図書室を配置

(3) ふるさと嘉麻を心に育む施設

- ①地域住民の集いの場となる施設
- ②地元産材等を活用し、キャリア教育の場となる施設

- ・地域との交流スペースを配置

- ・嘉麻市産材の活用

基本コンセプト実現に向けた施設整備

(4) 地域の資源として機能する施設

- ① 利用しやすく、誰にでも優しい施設
- ② 地域コミュニティの拠点となる施設

- 多目的トイレを各階に配置
- 大きく分かりやすいサインを配置

- 地域住民の利用を想定した駐車場と動線の確保
- 体育館や運動場の学校開放に配慮した動線の確保

(5) 安全・安心を守る施設

- ① 安全な施設
- ② 維持管理しやすく、長期にわたり機能性を確保できる施設
- ③ 環境にやさしい施設

- 死角の少ない校舎、施設配置
- 職員室を中心に学校全体を把握できる施設
- 児童生徒と車両動線の分離

- 簡素な施設配置
- 機器、備品、仕上げ材などは一般的な材料を採用

- 最新の機器を使用し省エネに配慮した施設
- 日照、採光、通風に配慮した施設

碓井中学校区小中一体型校施設整備基本計画
 稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画

(概要)

(令和元年8月)

校区	計画候補地	配置計画 (校舎位置)	学校規模 (校舎面積)	概算事業費 (※)
碓井 中学校区	碓井小学校敷地	グラウンド に整備	約7,500m ²	2,800 百万円
稲築 中学校区	稲築西小学校 及び 稲築中学校の 両敷地	稲築西小学校 グラウンド に整備	約10,500m ²	3,700 百万円

※概算事業費について

建設工事費算出に係る単価を、近隣実績から建設単価約30万円/m²程度、改修単価約10万円/m²程度とし、配置計画、各階平面計画等に基づき概算事業費を算出しました。なお、外構工事等の現時点で試算することが困難な費用については、概算事業費に含まれておりませんので、引き続き検討していきます。

概算事業費の試算項目：校舎新設、学童保育所新設、武道場兼サブアリーナ新設、
 体育館改修

2. 嘉麻市教育基本方針（案） について

これまでの小中連携・一貫教育への取組み

年度	取組み	成果
H18年度	教育基本法改正 (教育振興基本計画の策定の義務化)	
H20年～	学習指導要領改訂(脱ゆとり教育) 中学校単位で小中学校が共通認識を持って対応していくことの重要性を指摘。 義務教育9年間の全体像を把握し、系統性・連続性に配慮した教育活動に取り組む。	
第1次 H21～H23	『嘉麻市教育振興基本計画』 (嘉麻市アクションプラン)の策定 人事交流や共同研究を通して小中連携を推進する。	小中学校間の人事交流を実施し、各中学校区での組織づくりに取り組む。
第2次 H24～H26	研究指定補助事業を中学校区単位で委嘱。 学力向上や生徒指導の取組みなど小中連携を図る。	中学校区での取組みを推進し、4つの教育課題を解決するための方策として、小中連携の重要性の認識が高まってきた。
第3次 H27～H29	研究指定補助事業により進めてきた協働組織を活用し、学力向上や生徒指導の具体化について研究を進める。	研究指定校制度により、校区としての取組みの意識化や小中連携・一貫教育の重要性を認識し、具体的な実践への取組みを進める。
H28年度	義務教育学校創設(学校教育法改正)	
第4次 H30～H32	中学校区型の小中連携事業を推進し、全ての教職員による協働体制を整備し、小中連携・一貫教育への理解と取組みを促進し、小中連携・一貫教育の具体性を高める。	小学校から中学校の9年間をつなぐ学びと小中連携の取組みを加速させ、義務教育9年間において必要不可欠な取組みとの認識を深める。

⇒「嘉麻市教育振興基本計画」の成果を踏まえ「嘉麻市教育基本方針(案)」を作成

嘉麻市教育基本方針（案）について

（別紙１）

- ▶ 小中連携・一貫教育への取組み
- ▶ 小中連携・一貫教育への取組みの成果
- ▶ 小中一貫教育の制度
- ▶ 小中一貫教育先進地の事例
- ▶ 嘉麻市の目指す教育の方向性

などについて

3. 事業スケジュールについて

事業スケジュール（案）

校区	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
碓井中学校区		設計期間	校舎建設期間		開校予定	校舎解体・外構整備期間	
稲築中学校区		設計期間	校舎建設期間		開校予定	校舎解体・外構整備期間	
稲築東中学校区			設計期間	校舎建設期間		開校予定	校舎解体・外構整備期間
嘉麻市教育基本方針（案）		教育課程（カリキュラム）原案の作成	教育課程原案の内容検討（校区毎）	教育課程の試行	実施予定	全中学校区単位で小中一貫教育実施	

※国庫補助金の採択時期により事業スケジュールは変更になります。